

新聞に親しみ、新聞を活用する児童の育成

高砂市立米田西小学校 校長 福島 早苗
教諭 瀧下 隼平

1. はじめに

本校は、N I E実践指定校となり2年目になる。昨年度の成果として、あまり新聞を読まなかった児童が、休み時間や読書の時間に新聞を読むようになり、身の回りや社会の出来事について興味・関心を示すようになってきた。また、新聞の構成を知ることで、人に分かりやすく伝えるために、5W1Hを意識して文章を書いたり、構成を考えたりする児童も増えてきた。今年度は「新聞に親しみ、新聞を活用する児童の育成」という研究テーマで実践を行った。昨年度は4年生で、今年度は6年生94名において実践を行った。

2. 実践の内容

(1) 学習新聞づくり

各教科で学んだことや調べたことをグループに分かれて新聞にまとめる活動を行った。国語新聞グループでは、間違いやすい漢字や学習した物語のあらすじをまとめたり、算数新聞グループでは、身の回りの物の重さを量って算数クイズを出題したり、社会新聞グループでは、自分の好きな歴史上の人物について調べてまとめたりするなど、それぞれのグループで工夫を凝らして新聞づくりに取り組んだ。児童たちは意欲的に新聞づくりに取り組み、各教科の興味関心を深めることにも繋がった。新聞は学期の終わりごとに1枚作成し、できあがった新聞は教室に掲示し、他のグループと交流する時間も設けた。



(2) 新聞記者派遣事業

11月30日に読売新聞姫路支局加古川通信部から田辺記者をお招きし、「新聞づくりのポイント」をテーマに記事の書き方や見出しのつけ方に関する出前授業を行った。出前授業では、朝刊を教材にし、「いつ」「どこで」など記事の基本である5W1Hの説明や、「記事は一番伝えた

いことを全文にいれる」「見出しは短くまとめる」など、新聞を書く際のポイントを学習した。また、新聞記者の仕事の内容、取材の様子、新任記者の1日はどのようなものか等の話をお聞きした。子ども達は新聞記者の仕事の話を生で聞くことができ、更に新聞について興味をもつことができた。学習した5W1Hの書き方や、見出しのつけ方は、総合的な学習の時間で「平和新聞づくり」などの新聞づくりの学習で生かされた。



(3) 国語科「新聞の投書を読み比べよう」

国語科の「新聞の投書を読み比べよう」の学習と関連させ、教科書の投書から読み取ったことを使って、実際に投書を書く活動を行った。NIEの取り組みにより、新聞を読む児童は多くなってきたが、投書やコラム、社説などを読む児童は少ないようだ。そこで、意欲的に投書を書かせるために、様々な種類の投書や新聞記事を提示し、児童の興味のある話題を提供した。また、学校に置いている新聞から投書欄を探させたり、どのような話題が書かれているか調べさせたりすることで、投書に対する興味づけを行った。投書を書く活動を通して、読み手を納得させるための意見の書き方や理由づけの仕方、文章の構成の工夫などについて学習することができた。

(4) 校外学習新聞づくり

1学期に校外学習として兵庫県立考古博物館に行き、学んだことを新聞形式でまとめた。本物の新聞を参考にしたり、パンフレットを切り抜いたり、見出しやレイアウトを考えたり、どの児童も工夫をして新聞づくりに取り組んだ。出来上がった新聞は掲示して、互いに見せ合い交流する時間を設けた。



(5) 平和・人権について考えよう

6年生の2学期の総合的な学習の時間に、人権・平和についての学習を行った。児童たちは学習のまとめとして人権と平和に関する新聞づくりに取り組んだ。グループに分かれてテーマを決めて、1枚の模造紙に新聞形式でまとめた。児童たちはインターネットを使って調べたり、平和に関する新聞記事や本などを資料として活用したりするなど、グループで工夫して新聞にまとめることができた。新聞を作成する際には、出前授業で学習した見出しのつけ方や、5W1Hを意識して構成を

考え、実際の新聞を参考にさせて考えさせた。できあがった新聞をもとに発表会を行い、他のグループと交流を行った。また、児童たちが作った新聞は、廊下の壁に掲示されており、行き来する人がいつでも見ることができるようになっている。



(6) スクラップ新聞

今年度もスクラップ新聞づくりに取り組んだ。スポーツの記事、地域の行事の記事、環境問題など、児童たちは自由に好きな記事を選び、スクラップ新聞を作った。どの児童も夢中になって取り組み、できたスクラップ新聞を嬉しそうに友だちと見せ合っていた。野球の記事ばかり選ぶなど、記事が偏る児童もいたので、「今日の話題の人物」「環境問題」「幸せな記事」「びっくりした記事」などのテーマを絞って記事を探させたこともあった。スクラップ新聞交流会の時間を設け、選んだ記事を伝え合う活動を行った。できあがったスクラップ新聞は、各自、教室の後ろに掲示した。たまっていったスクラップ新聞はクリアファイルに保存して、いつでも閲覧できるようにした。

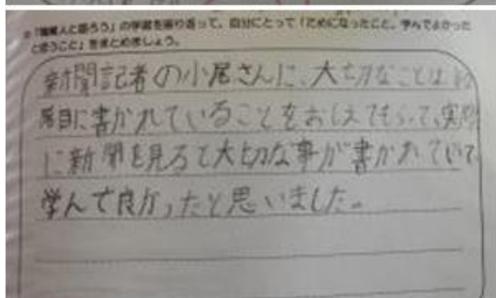
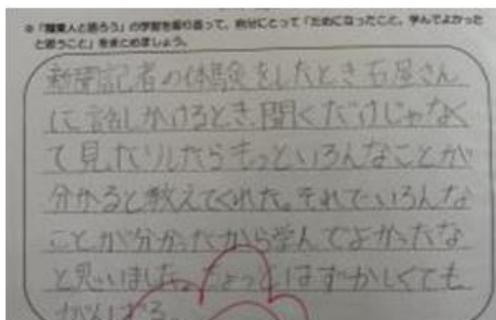


(7) キャリア教育

キャリア教育として、6年生が職業体験に取り組む特別授業「職業人と語ろう」を行った。新聞記者、トリマー、看護師など12業種の社会人が講師を務め、子どもたちは職業体験を行った。新聞記者のコーナーでは、神戸新聞東播支社の小尾記者に、新聞の書き方の指導や取材の仕方のお話をいただいた。

記事の書き方として一段落目に重要なことを書くこと、取材の時には何をしているか様子を注意深く見て記事を書くこと、分かりやすく伝えるために5W1Hを使って記事を書くことの大切さにつ

いて説明していただいた。子どもたちは、実際に新聞記事を書いたり、他の職業人の方に取材を行ったりすることで、新聞記者の仕事内容に興味をもつことができた。また、仕事をしていて嬉しかったことや苦労話など、職業人の生の声をインタビューすることで、働くことの意義や将来の夢について考えを深めることができた。



3. 成果と課題について

○成果

- ・今年度はNIE実践指定校となり2年目であったため、意識して新聞を活用できた。
- ・普段からスクラップ新聞づくりをしたり、教師が新聞記事を紹介したりするなど、NIEの取り組みをすることで、新聞を読む児童が増えてきた。
- ・新聞への関心意欲が高まるだけでなく、5W1Hを意識して文章を書くことができたり、読解力や表現力がついたりした。
- ・新聞を読むことで、身の回りや社会の様々な出来事に関心を持つ児童が増えてきた。

○課題

- ・新聞には、児童にとって読めない漢字や難しい内容が書かれているので、読めるようにするための手立てが必要であった。
- ・今年度は6年生での取り組みだったので、他の学年での実践を計画していくことが必要である。